



ゼロカーボンかみしほろへの挑戦

Zero-carbon Kamishihoro

第1回 脱炭素先行地域
に選定されました！

2022年1月25日から2月21日にかけて第1回脱炭素先行地域の募集があり、全国から102自治体・79件の応募がありました。その中において、上士幌町の脱炭素に向けた計画提案内容が評価をされ、2022年4月26日に脱炭素先行地域に選定(全国26件)されました。第1回の選定地域において「町(地域)全域」を対象として取り組んでいくのは、上士幌町が唯一となっています。

脱炭素先行地域とは？

脱炭素先行地域とは、2050年カーボンニュートラル実現に向けて、民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用なども含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、日本全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域のことです。2025年度までに、全国で少なくとも100か所を選ぶ方針が示されており、選定された地域には、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」(上限50億円)が交付されます。

取組の範囲

上士幌町全域



豊富な森林吸収源

町面積の約76%を森林が占めており、全町民の呼吸から排出されるCO2換算で、約100年分の吸収量を保有(142kt)



未利用エネルギー資源の活用検討

めかびら源泉郷における温泉熱や中小水力などの有効活用策を検討



バイオマス資源の有効活用

バイオガスプラントにおける家畜ふん尿適正処理による資源循環



木質バイオマスや生ごみによるエネルギー資源の活用を検討

再エネ・省エネ意識の醸成

住民の環境に配慮した行動に応じたポイントを付与する仕組みの構築

全国自治体向け普及啓発セミナーの実施

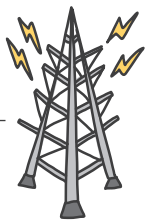


町内全域を対象とした脱炭素化
→ 上士幌モデル
の確立による全国への横展開

かみしほろ電力によるエネルギーの地産地消

バイオガスプラントで発電された電力を域内に供給

再生可能エネルギー地産地消の仕組みを既に実現



再エネ・省エネの推進とマイクログリッド構築

役場庁舎改修による再エネ設備導入と公共施設省エネ化

官民協働による大規模太陽光発電の導入

防災施設等のマイクログリッド構築

地域への太陽光発電設備導入支援

ZEH型住宅建設支援



公共交通最適化・物流網の再構築

高齢者等福祉バスデマンド運行による効率化



将来における自動運転バスの実用化

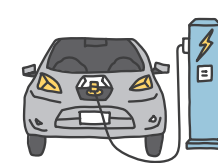
ドローン配送の社会実装



公用車・公用電動自転車の一体的整備

公用車のEV・PHEV更新と電動自転車導入

EVステーションや急速充電設備の設置



今後は、コンセプトとして掲げた「ゼロカーボン上士幌の実現とスマートタウンの構築」を目指し、実行計画の策定や推進体制を整備のもと、再エネ・省エネに資する統合的な取組を国の支援を受けながら、計画的に実施していくこととしています。

第1回脱炭素先行地域に選定された使命として、国内における「脱炭素ドミノ」に貢献できるよう、いち早く町内の脱炭素実現に向けて取り組んでいきます。